

入 試 年度	2026 年度	入試時期	Ⅱ期入学試験	実施日	2026 年 2 月 24 日
課程	博士前期課程	研究科	文学研究科	専攻・ コース	日本文学専攻
入 試 方式	一般入学試験		試験科目	英 語	
「解答」または「解答例」及び「出題の意図」					
[I] 【出題の意図】 老子『道徳経』の英語翻訳者の文章。原文は、著作権保護された、文法的にも語彙的にも比較的容易な英語である。日本文学を研究しようとするものであれば知っているはずの『道徳経』の英語翻訳にあたって翻訳者が意識したこと、パンデミックの影響、現代における『道徳経』の変わらぬ意義、そこにおいて説かれていることなどが盛り込まれた日本語訳を求めることで、平易な英語の基本的読解力を評価することが狙いである。 【採点時の観点】 日本語原文の再現は求めない。1) 構文理解、2) [辞書使用＝可] なので、文脈に沿った語義選択技術、3) 当該一節の文脈・状況の理解が充分推量できる程度の日本語運用能力――を評価した。					
[II] 【出題の意図】 世界的ベストセラーとなったユヴァル・ノア・ハラリ『サピエンス全史：文明の構造と人類の幸福』からの一節。約 7 万年前に人類が抽象的な思考能力を獲得し、神話や虚構を共有できるようになったという意味で、歴史人類学の文脈における「認知革命」がわからなくても、とりあえず訳を付けられるはずであると判断した上での出題である。下線部のみの和訳を求めることで、英語の基本的読解力を評価することが狙いである。原文は、著作権保護された、文法的にも語彙的にも比較的容易な英語である。 【採点時の観点】 文体や語彙の点で「こなれた」和訳は求めない。1) 構文理解、2) [辞書使用＝可] なので、文脈に沿った語義選択技術、3) 当該一節の文脈・状況の理解が充分推量できる程度の日本語運用能力――を評価した。					
合否判定の方法及び基準					
入学試験は文学研究科のアドミッションポリシーに基づき、これを満たす学生を募集することを目的に実施しています。					
合否判定については、本研究科のアドミッションポリシーを満たすことを、総合的な視点により合否を判断しております。					